

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第4部門第1区分

【発行日】平成30年6月7日(2018.6.7)

【公開番号】特開2016-176240(P2016-176240A)

【公開日】平成28年10月6日(2016.10.6)

【年通号数】公開・登録公報2016-058

【出願番号】特願2015-56870(P2015-56870)

【国際特許分類】

E 02 F 9/26 (2006.01)

【F I】

E 02 F 9/26 B

【手続補正書】

【提出日】平成30年4月20日(2018.4.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

旋回体と、

該旋回体に取り付けられたアタッチメントと、

該アタッチメントの姿勢を検出する姿勢センサと、

前記アタッチメントの操作をガイダンスするガイダンス装置と

を有し、

前記ガイダンス装置は、

前記旋回体の旋回速度と前記姿勢センサの検出値とに基づいて前記アタッチメントの高さを算出する、ショベル。

【請求項2】

旋回体と、

該旋回体に取り付けられたアタッチメントと、

該アタッチメントの姿勢を検出する姿勢センサと、

前記旋回体に取り付けられた傾斜センサと、

前記アタッチメントの操作をガイダンスするガイダンス装置と

を有し、

前記ガイダンス装置は、

前記姿勢センサの検出値に基づいて、前記アタッチメントの高さを算出し、

予め設定された目標高さを前記旋回体の旋回速度に基づいて補正してから出力し、

前記算出された高さと、前記補正された目標高さとを比較し、

比較結果に基づいてガイダンスを行なう、ショベル。

【請求項3】

請求項1又は2記載のショベルであって、

前記旋回体の旋回速度として、旋回速度センサにより検出した旋回速度を用いる、ショベル。

【請求項4】

請求項1又は2記載のショベルであって、

前記旋回体の旋回速度として、メインポンプの吐出流量から推定した旋回速度を用いる、ショベル。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

そこで、本発明は、旋回体が旋回中であっても旋回による影響を除去できるショベルを提供することを目的とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上述の目的を達成するために、本発明の一実施形態によれば、旋回体と、該旋回体に取り付けられたアタッチメントと、該アタッチメントの姿勢を検出する姿勢センサと、前記アタッチメントの操作をガイダンスするガイダンス装置とを有し、前記ガイダンス装置は、前記旋回体の旋回速度と前記姿勢センサの検出値とに基づいて前記アタッチメントの高さを算出する、ショベルが提供される。